

平成31年2月5日

第3回八尾翠翔高等学校 学校運営協議会（報告）

協議委員（3名）の参加をいただき、本校教職員（3名）が同席し協議を行った。主な質疑等については、以下の通りである。

① 学校教育自己診断アンケートの結果より

12月に実施した学校教育自己診断アンケートの結果について教頭より説明した。生徒の回答では、「学校へ行くのが楽しい」「本校に入学して良かった」の項目でスコアがやや低下している。また、「行事などが楽しく行われるよう工夫されている」の数値も同様である。一方、「家庭学習の時間確保」や「授業での発表の機会」等については大幅に向上しており、授業改善の成果が見られる。

【意見・提言】

- ・「本校に入学して良かった」の項目は、1年次は低く、2～3年次になるにつれ向上していく傾向は例年どおりだ。
- ・きっちりとした生徒指導に対して、入学当初は自分の為になるという意識がなく、一方的に「押さえつけられている」と見方をしているのではないか。
- ・最近「自由」が最優先され、何が大切なのかはき違えられている風潮がある。文化祭や体育祭などの行事についても、生徒が参加しての実行委員会を作っているはずだが、生徒側に少し遠慮があり、自分で規制をかけているところもあるのではないか。
- ・生徒指導に関しても、客観的に見て緩めても良い部分は緩め、だめなものはだめという明確な線引きや、時よっての緩急の使い分けが大切である。
- ・遅刻をした時等の「罰則」はやめた方がよい。遅刻をするなら欠席するという風になっていないか。
- ・保護者は、学校の指導に対し高く評価している。小中学校で叱られずに育ってきた生徒に、社会生活や集団生活について教える教育は、今後も継続して行って欲しい。
- ・最近の中高生は大人しい。人前で意見が言えるようなプレゼンテーション力を身につけて欲しい。

② 学校経営計画について

来年度の学校経営計画について校長より説明した。内容は大阪教育大学との高大連携事業や、今後新たに「教員養成コース」設置に向けての動きについてである。これに伴って、大阪教育大学の「地域枠学校推薦型選抜」を活用した大阪教育大学進学を同時にめざしている。生徒指導に関しては、生徒に「理不尽」というフレーズを使わせない、「納得感のある」指導も進めていきたい。

【意見・提言】

- ・大阪教育大学との連携はとてもよい。新コースの設置は早急に進めて欲しい。予定より

ももっと前倒し出来ないか。

- 地域との連携について期待している。地元中学校からの体験授業や、高校生が逆に中学校に出向いてのインターンシップのようなものも企画して欲しい。
- 八尾市のイベント等で本校生が活躍してくれている。安心安全の地域づくりの観点からも、本校生の地域防災訓練等への参加も期待している。